

▶ **会社の概要** (2015年10月1日現在)

商号 株式会社ティーツー  
 英訳名 TAY TWO CO.,LTD.  
 店舗名 古本市場、ブック・スクウェア、TSUTAYA、3Bee、  
 トレカパーク、Family Mart  
 創業 1989年10月  
 設立 1990年4月  
 本社 岡山県岡山市北区今村650番111  
 TEL (086) 243-8600  
 東京本部 東京都品川区西五反田七丁目1番1号  
 住友五反田ビル5階

TEL (03) 5719-4580  
 代表者 代表取締役社長 寺田 勝宏  
 資本金 11億6,550万円  
 従業員数 297名 パート・アルバイト1,295名

**主な事業内容**

古本、家庭用ゲームソフト・ハード、トレーディングカード、  
 CD、DVD等の販売・買取  
 CD、DVD等のレンタル業務  
 Family Mart (コンビニエンスストア) の運営  
 ECサイトの運営

▶ **役員** (2015年10月1日現在)

代表取締役社長 寺田 勝宏	常勤監査役 塚本 陽二
取締役 武田 聡	監査役(社外) 平田 修
取締役 藤原 克治	監査役(社外) 小松 泰夫
取締役(社外) 大谷 真樹	監査役(社外) 近藤 麻紀
取締役(社外) 鍋嶋 智紀	

▶ **大株主** (2015年8月31日現在)

株主名	持株数	出資比率
㈱ワイ・エイ・ケイ・コーポレーション	9,649,200 株	19.07 %
㈱TSUTAYA	7,760,100	15.34
㈱山陰合同銀行	2,100,000	4.15
ティーツー従業員持株会	1,573,000	3.11
㈱みずほ銀行	1,000,000	1.98
東京海上日動火災保険㈱	1,000,000	1.98
個人株主	945,000	1.87
日本証券金融㈱	873,900	1.73
㈱トマト銀行	800,000	1.58
㈱中国銀行	800,000	1.58

(注) 当社は自己株式2,038,500株を所有しておりますが、上記には表記しておりません。  
 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

▶ **ホームページのご案内**

● **トップページ**



<http://www.tay2.co.jp/>

● **ふるいち店舗情報サイト**



<http://www.furu1.net/>

● **フルイチオンライン (スマホサイト)**



<http://www.furu1online.net/>

● **トレカパーク**



<http://www.torecapark.com/>

● **モ・ジール**



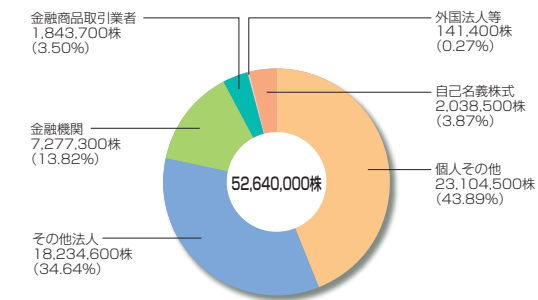
<http://mo-zeal.co.jp/>



▶ **株式の状況** (2015年8月31日現在)

■ 発行可能株式総数 200,000,000株  
 ■ 発行済株式の総数 52,640,000株  
 ■ 株主数 6,453名

▶ **所有者別株式分布状況** (2015年8月31日現在)



▶ **株主メモ**

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで  
 定時株主総会 5月  
 基準日 定時株主総会 2月末日  
 期末配当金 2月末日  
 中間配当金 8月末日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して  
 定めた日  
 公告方法 電子公告により行います。  
 ただし、電子公告を行うことができない事故そ  
 の他やむを得ない事由が生じたときは、日本経  
 済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 (郵便物送付先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号 (〒137-8081)  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 ☎ 0120-232-711  
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 (郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063)  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 ☎ 0120-782-031

# 株主の皆様へ

## 第26期中間報告書

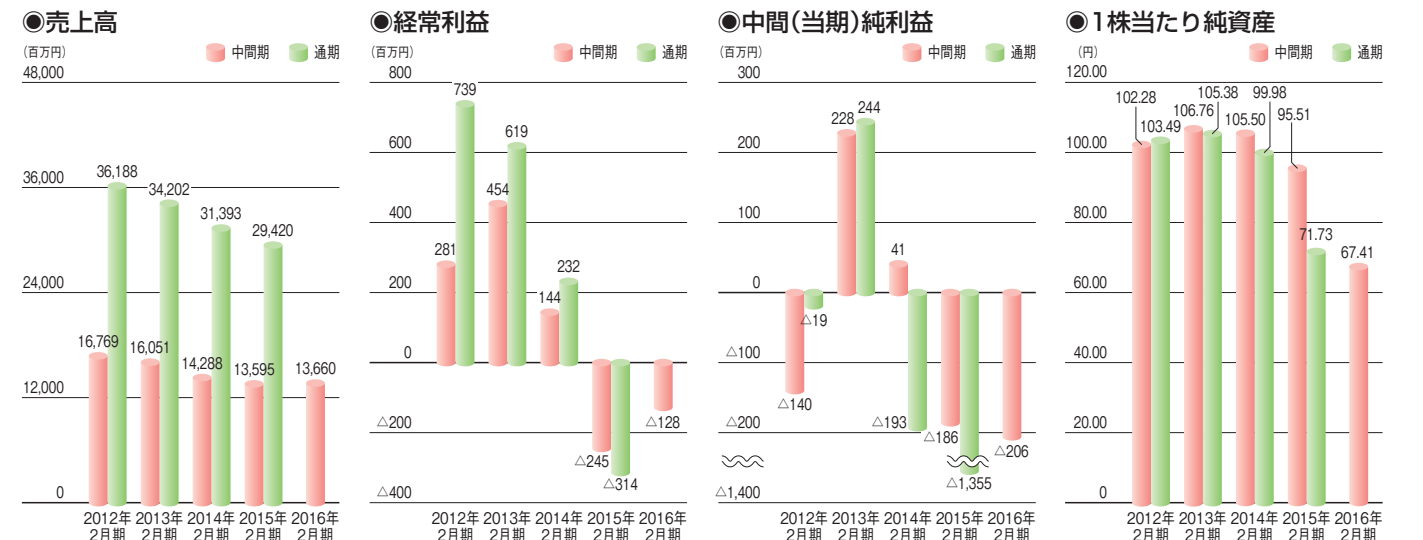
(2015年3月1日～2015年8月31日)

### 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、当社は2016年2月期中間決算を終えましたので、その概要をご報告申し上げます。  
 当社グループが展開する「マルチパッケージ販売事業」が属する業界におきましては、スマートフォン普及の拡大等による市場の変化により、主要商材である家庭用ゲーム・CD・DVD等の市場トレンドがここ数年著しい下降トレンドにあり、ビッグタイトルの発売等、一時的な特需はあるものの、依然として厳しい経営環境が続いております。  
 当社グループはこのような市場変動を前提としながらも利益が確保できる体制を作るため、以下の目標を期初に掲げ取り組んでおります。  
 ① 厳しい市場環境の中でも利益を確保するための販管費削減  
 ② 次の成長に向けた施策  
 当上半期につきましては、店舗業務の改善による店舗運用コストの低減や固定的コストの見直しによる販管費の削減、また次の成長に向けた施策として「トレカパーク」のFC展開、「モ・ジール」の出店等を実施しており、その結果、売上高、利益面においては前年同期比で改善することができました。しかしながら、低調な市場トレンドの推移の中で全体の業績を補う結果を確保することはできず、黒字には至りませんでした。  
 下半期におきましては、引き続き各種事業戦略及びコスト構造の見直し等、継続的な事業成長を実現してまいります。  
 今後とも皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 寺田 勝宏

### 財務ハイライト(連結)



※1 2012年2月期及び2013年2月期中間期は個別数値となります。  
 ※2 当社は2013年9月1日付で、株式1株につき100株の株式分割を行っておりますので、2014年2月期の中間期以前につきましては「1株当たり純資産」を「1/100株当たり純資産」と読み替え表示しております。

## 財務諸表

### ●損益計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	前中間期 (2014年3月1日から 2014年8月31日まで)	当中間期 (2015年3月1日から 2015年8月31日まで)
売上高	13,595	13,660
売上総利益	3,872	3,836
販売費及び一般管理費	4,127	3,986
営業損失(△)	△254	△149
営業外収益	56	69
営業外費用	48	47
経常損失(△)	△245	△128
特別利益	0	2
特別損失	4	57
税金等調整前四半期純損失(△)	△250	△183
法人税等	△63	23
四半期純損失(△)	△186	△206
1株当たり四半期純損失(△)	△3.69円/株	△4.09円/株

### ●貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

科目	前期 (2015年2月28日現在)	当中間期 (2015年8月31日現在)	増減
流動資産	6,546	5,964	△581
現金及び預金	2,017	1,505	△511
商品	3,716	3,675	△41
その他	812	783	△28
固定資産	2,948	2,786	△161
有形固定資産	986	923	△62
無形固定資産	220	206	△14
投資その他の資産	1,741	1,656	△84
総資産	9,495	8,751	△743
負債	5,863	5,336	△526
流動負債	3,366	2,452	△913
固定負債	2,497	2,884	386
純資産	3,631	3,415	△216
負債純資産合計	9,495	8,751	△743

### ●キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2015年3月1日から 2015年8月31日まで)
営業キャッシュ・フロー	112
投資キャッシュ・フロー	20
財務キャッシュ・フロー	△595
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△461
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,422

### 損益計算書のポイント

売上面では、前期より取り組んできた施策によりトレーディングカードの売上が大きな増収となっている他、収益基盤の再構築として注力している古本が前年並みに回復するなど一定の効果がありました。

経費面では店舗の業務効率化や店舗コスト構造の見直しにより、固定費を中心とした販管費の削減に努めてまいりました。

その結果、売上高、利益面において前年同期比では改善し、営業損失は1億4,900万円となりました。

### 貸借対照表のポイント

総資産に関しましては、店舗設備を主とした固定資産の減価償却による減少及び現預金の減少の結果、前連結会計年度末と比べて7億4,300万円減少しております。

負債に関しましては、主に短期借入金の返済により5億2,600万円減少しました。

純資産は34億1,500万円となり、2億1,600万円減少しております。これは主に四半期純損失の影響によるものです。

### キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業キャッシュ・フローについては税金等調整前四半期純損失によるマイナスを計上したものの、棚卸資産の減少及び減価償却費により1億1,200万円のプラスとなりました。

投資キャッシュ・フローについては新規出店やシステム投資があったものの、投資有価証券の売却、差入保証金の回収により2,000万円のプラス、財務キャッシュ・フローは主に短期借入金の返済により5億9,500万円のマイナスとなっております。以上の結果、現金及び現金同等物の残高は14億2,200万円となりました。

## Topics

トピックス

### ■売り場効率の改善

売り場効率の改善として、既存店への新商材取扱いの拡大を進めております。第1四半期には、フィギュア及びホビーを扱う「コレクターズ」コーナーを導入、加えて、新刊書籍「ブック・スクウェア」を導入いたしました。これらは店舗そのものの魅力を高め、集客力の向上に寄与しております。今後につきましても、「コレクターズ」商品導入店舗の追加拡大を計画しております。

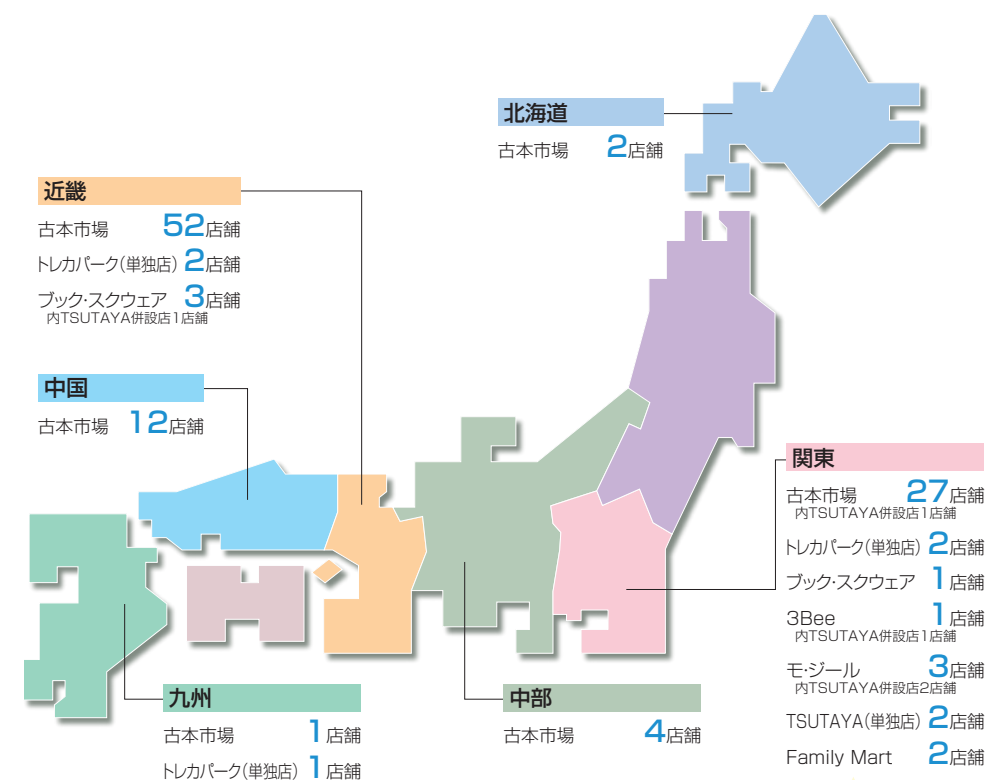
### ■商材の卸売(BtoB)及びFC展開

前期に提携会社との共同出資により設立した「(株)スペースチャンス」を通じて、トレーディングカード専門店である「トレカパーク」のFC展開、及び運用支援を実施するなど順調に立ち上がっております。

### ■利益を確保するための販管費削減

マルチパッケージ販売事業におきましては、厳しい環境の中でも利益を確保するために、店舗運営コストの低減、効率的な販促手法、固定コストの徹底的な見直しを実施し、利益確保のできる体制への変革を進めております。なお、第1四半期において、不採算店2店舗の閉店を実施しております。

### ▶ 店舗一覧 (2015年10月1日現在)



※各店舗の詳細につきましては、下記のURLをご参照ください。

- ふるいち店舗情報サイト URL: <http://www.furu1.net/>
- トレカパーク専門公式ページ URL: <http://www.torecapark.com/>
- モ・ジール公式情報サイト URL: <http://mo-zeal.co.jp/>